TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

王が来られた 最も重要な戒め
マタイによる福音書 22:34-40

2022 年 8 月 13 日&14 日
余沢 武 牧師

I. はじめに

こんにちは。VBS があった素晴らしい 1 週間でしたね。お手伝いしてくださった皆さんに感謝します。少しでも VBS と関わった方はお立ちください。子供たちに愛を示してくださって、彼らの人生のために時間を注いで有難うございます。主からの祝福がありますように。おかけください。

このシリーズでは、イエスがエルサレムに救い主として入られたこと、ユダヤの指導者達の行為を非難したこと、そしてその指導者達が反撃したことをみてきました。まずファリサイ派とヘロデ党の人たち、次にサドカイ派の人たちという順番でした。今日は、ファリサイ派の人たちがもう一度反撃しようとします。まずは祈りましょう。

II. 最も重要な戒め
(1)試す

マタイ 22:34-36 を開きましょう。「ファリサイ派の人々は、イエスがサドカイ派の人々を言い込められたと聞いて、一緒に集まった。そのうちの一人、律法の専門家が、イエスを試そうとして尋ねた。「先生、律法の中で、どの戒めが最も重要でしょうか。」

ファリサイ派の人々はイエスを最初に試した時にファリサイ派の弟子達をつかわしました。そしてイエスの聖書への深い理解を知ると今度は自分たちの中で最も優秀な者の一人である律法の専門家を送ります。その人がイエスに尋ねました。「先生、律法の中で、どの戒めが最も重要でしょうか。」

(2)戒め

イエスは答えます。マタイ 22:37-40「イエスは言われた。「『心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の戒めである。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つの戒めに、律法全体と預言者とが、かかっているのだ。」

「律法全体と預言者」は旧約聖書、当時の聖書のことです。

「この二つの戒めに…かかっている」というのは、旧約聖書はこの二つの戒めに「基づいている」という意味です。つまり聖書にある全ての戒めの適応はこの 2 つの戒めに基づいていると言うことです。

そのため、イエスによると最も大切な戒めは『心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』です。しかしこれは何を意味しているのでしょうか。

まず、「神である主を愛する」というのはどういう意味でしょうか。「神を愛する」方法はさまざまですが、「神を愛する」3 つの基礎的な方法をお話ししたいと思います。私たちは次のように神を愛します。

1.神を創造主として認める。
ダビデが詩編 19:2 で次のように言いました。「天は神の栄光を語り／大空は御手の業を告げる。」

2.神の力と神の忠実さを信頼する。
詩編 18:2-3 節にはこうあります。「主よ、わが力よ、私はあなたを慕う。主はわが岩、わが城、私を救う方／わが神、わが大岩、私はそこに逃れる。」
ヘブル 11:6 にはこうあります。「信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神が存在しておられること、また、神がご自分を求める者に報いてくださる方であることを、信じていなければならないからです。」

3.「神の言葉」に従う。ヨハネ 14:23 にはこうあります。**「私を愛する人は、私の言葉を守る。」**イエスによると、私たちはこれら全てのことを心を尽くして、魂を尽くし、思いを尽くしてするべきなのです。

私たちは「心を尽くして私たちの神である主を愛する」べきです。古代ユダヤ人にとって「心」は体の司令塔で、決断する場所です。

例えばルカ 15 章の放蕩息子のたとえばなしを覚えている人もいるでしょう。そのたとえばなしでは、弟は所持金を全部使った後、自分の父親の召使いとして家に帰ろうと決めました。彼は喜んで仕えたでしょう。なぜでしょうか。それは彼が心から決意したからです。彼はそうしたいと思ったからです。

一方、父親の元に残っていた彼の兄は息子として働くとしても幸せではありませんでした。なぜでしょうか。自分の父親に仕えることが自分の心からの決断ではなかったからです。本当はしたくなかったからです。それは態度に表れ、彼の生き方に影響しました。

私たちが心の奥底で決断したことは、私たちがどんな人になるかを決定します。イエスは私たちが「心を尽くして神を愛する」べきと言います。私たちは心から、何があっても次のことをすると決断するべきです。
①神を創造主として認める。
②神の力と神の忠実さを信頼する。
③「神の言葉」に従う。

私たちは「魂を尽くして私たちの神である主を愛する」べきです。「魂」は私たちの「モチベーションを持つ力」であり、何かをする「強い意思」や「強い願い」を私たちに与えます。私たちは神を愛するためにモチベーションを持つこと、「強い意思」や「強い願い」を持つべきです。

愛するという「強い意思」のためにモチベーションを持つことはとてもユニークなことです。なぜなら、世の中では逆なことをするからです。人は憎む「強い意思」のためにモチベーションを持つことをするからです。

中国の王子の話があります。彼の父親は敵の王に殺されました。王子はいつも薪の上に寝て、その痛みにより復讐する「強い意思」を奮い立たせていました。そして 3 年後にその敵の王を倒します。

しかし倒された敵の王は熊の肝をベッドの上につるして毎朝それをなめて、胆汁の苦さにより復讐する「強い意思」を奮い立たせました。20 年間もそうしました。次第に、彼は王子を倒しました。これが「魂を尽くして憎む」ことですね。

強烈ですね。しかし、聖書は逆を命令しています。「魂を尽くして神を愛しなさい」と求められています。

実際、全てのユダヤ人は**申命記 6:8-9** でそのように命じられていました。**「その言葉（神を愛するようにと命じている聖書の箇所）をしるしとして手に結び、記章として額に付け、また家の入り口の柱と町の門に書き記しなさい。」**

今日でも、一部のユダヤ人は聖書箱と呼ばれるこの御言葉を額と腕につけることによって、神を愛するモチベーションを保ち、「強い意思」を持つようにしています。

私たちがクリスチャンとして毎日聖書を読んで祈る時の QT（クワイエットタイム）をする理由の一つがこれです。神を愛するためのモチベーションを上げ、「強い意思」を持ち続けるためです。
①神を創造主として認める。
②神の力と神の忠実さを信頼する。
③「神の言葉」に従う。

しかし、それが全てではありません。私たちは「思いを尽くして、私たちの神である主を愛する」べきです。「思い」は私たちの行動を決める場所です。私たちは神を愛するために、自分の行動が次のように表れる行動を選ぶべきです。
①私たちが神を創造主として認める。
②神の力と神の忠実さを信頼する。
③「神の言葉」に従う。

これは、私たちの行動がこの世の中の慣習、賢いやり方、個人的な思いに基づくものではなく、私たちの神への愛に基づくものにするためです。

例えば、モーセがイスラエルの人々をエジプトから連れ出した時に、なぜ自分の杖を紅海にいれて水を分けたのでしょうか。それが慣習であったから、賢いやり方だったから、モーセのやりたいことだったからではありません。モーセが神を愛していたからです。
①モーセは神を創造主として認めていました。
②モーセは神の力と神の忠実さを信頼していました。
③モーセは「神の言葉」に従っていました。

モーセは従うことを決めました。モーセは自分の意思で従うようにしました。そして従うための行動を選びました。モーセは心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、神を愛しました。そして、杖を水に入れたら水が分かれました。

数年前に私が両親を訪ねた時のことです。父が私たちを車で駅まで送ってくれました。父は好意から子供の一人にアドバイスしました。しかし、私はそのアドバイスがその子をとても傷つけると知っていたので、やめてほしいと思っていました。

すごく怒ってしまいました。父と話したくなかったので、駅まで送ってもらっている間、口を聞きませんでした。ずっと黙っていました。一言も言いませんでした。そして、東京に戻ってから罪を示されました。

聖書によれば、私は神に対して罪を犯したこと、そして父に対して罪を犯したことを知っていました。父の行動に私が強く反対していても、私の失礼な行動を正当化するものは何もありませんでした。私は神にだけではなく、父にも赦しを求めなければならないことを知っていました。私は次のことをしなければなりませんでした。
私がどんな風に感じても神の御言葉に従うと決意する。心を尽くして神を愛することです。
自分の怒りとプライドに打ち勝ち、神を信頼して従う「強い意志」と「強い願い」を持つこと。つまり魂を尽くして神を愛することです。
神の力と忠に信頼していることを表す行動を決心して、神に従うこと。つまり思いを尽くして神を愛する行動です。私は父に電話しました。父を責めることはなく、私も言い訳をせず、赦してほしいとへりくだってお願いしました。父はやさしく私を赦してくれました。

これが心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、私たちが神を愛することです。私たちはこれを家庭で、職場で、学校で、どこにいってもそうするべきです。

(3)第二の戒め

しかし、まだあります。イエスは**マタイ 22:39** でこう言われました。**「隣人を自分のように愛しなさい。」**
お話しした私の例のように、私たちが神を愛すると、周りの人の扱い方にも影響します。私たちは周りの人たちを愛するようになります。なぜなら、「神の言葉」が他の人を愛するように命じているからです。もし私たちがそうしていないのなら、それは私たちが神を愛していないという明らかな証拠です。

イエスは、聖書にある全てのことが、私たちが神を愛するように教えていると言います。
①神を創造主として認める。
②神の力と神の忠実さを信頼する。
③「神の言葉」に従う。

イエスの生涯を通して見られます。イエスは神を創造主として認めていました。イエスは神の力と忠実さを信頼しました。イエスは「神の言葉」に従いました。

私たちはそうすると決断し、そうすると意思を働かせ、そうするように行動を起こすと決意すべきです。そして私たちがそのように決断する時、私たちは自分が周りの人たちを愛していることに気付きます。ファリサイ派の人たちはこのことを知っていました。この御言葉を額と腕につけていました。しかし、実行できませんでした。

実は私たちも実行できませんでした。そのためにイエスが来て、十字架上で死に、私たちの罰を受けたのです。そして、もし私たちが赦してください、助けてくださいとイエスに祈るなら、神の聖霊が私たちに愛する力をくれます。今日私を変えてくださいとイエスにお願いしませんか。ぜひ今日そうしてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg3322jp

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9月10日（日）13：30～17：30
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．週末礼拝メッセージ翻訳者（数名募集）
1か月半に1度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語を日本語へ翻訳します。

2．日本語字幕オペレーター（4名募集）
月1回～各礼拝の時間（特に3時、5時の礼拝募集）の字幕のページをめくる奉仕です。英語を聞いて日本語がどの翻訳部分かわかる程度の英語力が必要です。操作は矢印キーを押すだけの簡単なものです。

連絡先（ひろみ）：
hiromik@tokyobaptist.org